

遅ればせながら、新年あけましておめでとうございます。

穏やかな天候に恵まれてスタートしたこの1年も、皆様に幸多いことをお祈りいたします。

さて、今年は「申年」。

猿は、繁殖力・子供への愛情の強さなどから夫婦円満・安産・家門繁栄等にご利益があるとされています。

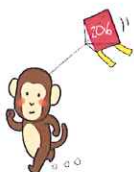


そして、申年生まれの人性格は、超ポジティブ思考で、

明るく楽しいことが大好き。又、活発な人が多いということですのでその行動力を真似て、

元気よく楽しい年にしたいと思います。

今年もどうぞよろしくお祈りいたします。



さて、今回から気分を新たに**建築のいろはにほへと?**と題し、ふだん見聞きする用語をやさしく説明させていただきます。

少しでもお役に立てば嬉しいです。

【建築工法の種類と特徴】

様々な住宅工法がありますが、主なものは6種類です。

- ① 在来工法 (木造軸組み工法)
- ② ツーバイフォー工法 (木造枠組み壁工法)
- ③ プレハブ工法 (軽量鉄骨造)
- ④ 鉄筋コンクリート造
- ⑤ 重量鉄骨造
- ⑥ ログハウス

この内から最も一般的な2つの工法について説明します。

●木造軸組み工法・在来工法

日本の代表的な家づくりを受け継ぐもので、縦木として通し柱・管柱・束、横木として土台・大引き・桁・棟木などを組み上げた工法で、柱や梁などの縦横の軸が上からの荷重を支え、斜めの軸が地震や風などの横からの力に抵抗します。縦・横材で構造耐力ができているため「軸組み」と言います。構造的な制約が少ないので、大きな開口部を取ることができ、間取りやデザインの自由度が

高いのが特徴。増改築がし易いことも魅力的です。

●ツーバイフォー (2×4) 工法

アメリカやカナダから導入されたツーバイフォーは、木材の枠に合板を貼った木製パネルで箱を作るようにして建てる工法で、枠組み壁工法とも呼ばれます。枠材の断面が2×4インチであることからその名が付けられました。木造軸組み工法の構成が「軸」なのに対し、「面」で構成するのがこの工法の特徴です。柱の代わりに壁、梁の代わりに床や天井で支え、力を面に分散させるので耐震性に優れます。耐火性や気密性、断熱性の高さに定評があり、開口部の取り方には制約がありますが、冷暖房に使用するエネルギーを節約できるので大空間の設計向きです。自由度が高いのが特徴。在来工法と同様に増改築がし易いことも魅力的です。



(木造軸組み工法)



(ツーバイフォー工法)

小正月 (こしょうがつ)

1月15日。

元日を大正月というのに対して呼んだ名。

松の内に忙しく働いた主婦をねぎらう意味で「女正月」とも呼ばれています。

関西では、小正月までを松の内とします。

年神様や先祖を迎える行事を行う大正月に対して、小正月は家庭的な行事を行う正月で、お盆と同様に大切な節目でした。

大正月には門松を飾りますが、小正月には餅花(もちばな)などを飾ります。これは、豊作の予祝の大切な行事でした。

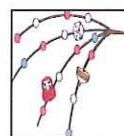
そのため「花正月」ともいいます。

この日の朝には小豆粥をいただきます。

昔中国では小豆粥を炊いて、家族の健康を祈る習わしがあり、日本でも、1年中病気をしないようにとお粥をいただく風習が残っています。

また、この日はどんど焼きといって、

神社で正月飾りや古いお札などを燃やします。



ニコニコって、すごいですね！



「第一印象」というと、なんだかそれだけで緊張してしまいそうな言葉ですね。

誰でも初めて会う人に接する時は緊張するものです。なぜなら、それだけ**第一印象が重要**だということを暗に理解しているからです。

そして又、自分の第一印象は悪いのでは？と、心配している人が多くいるからのようにも思います。

お客様と接する時にしても、プライベートで人と出会う時にしても第一印象が悪くて上手くいかなかったというケースは数多くあるように思います。

後で印象をひっくり返すこともできないことはないのですが、非常にパワーを必要とすることを考えれば、最初から印象を良くする努力をして損はないはずです。

では、印象を良くするにはどうするべきなのか？それを知っておくことはとても大切だと思います。

人は一体どこを見て印象を受けるのでしょうか。

第一印象で先ず一番に重視されるのは、その人と気が合いそうかどうかということでしょう。

二番目に表情を含めた顔でしょう。

気が合うということは、自分と似ていると言い換えられるようにも思います。

この状況を努力して作るには、相手の話をよく聞き、同調し、そして自分の思いを伝えるということが考えられます。

時には相手を褒めることも効果的かも？

又、相手のしぐさを真似ることで親近感を覚えるということもあるかもしれませんね。

では次に顔の表情を良くするにはどうするべきでしょう。先ず、笑顔が挙げられるのではないのでしょうか。

「笑う門には福来る」の諺どおりです。



身の周りにいる「憎めない人」というのは、大抵いつもニコニコしているものです。

相手に警戒心を与えないという意味では、表情を豊かにするという努力も必要かもしれません。

何を考えているのか判らない表情では、第一印象は決して良くはないでしょう。

初対面の時に相手の反応・表情を見て、自分の第一印象が良いのか悪いのかはある程度推測できます。

そしてそれが残念ながらあまり良くなかった場合、総じて自分が相手に抱く第一印象も同様に悪くなってしまいがちです。

こういう場合は、先ず、落ち着いてニコニコしてみましょう。かなりの高確率で印象は良くなるはずです。

これは出会った時だけに限ったことではなく、電話でも言えることです。顔は見えなくてもニコニコしながら話していることは声だけでも伝わります。



笑顔が笑顔を呼び、周囲が皆笑顔というのはとても気持ちが良いものです。

笑顔の輪が大きく大きく広がると嬉しいですね！！



「編集後記」

早いもので松の内も過ぎ、又、慌ただしい日常が戻ってきました。

お屠蘇気分は、もう抜けましたでしょうか？

最近はお正月の華やかな雰囲気は薄れ、少し寂しい気もしますがこれも時代の流れかもしれませんね。

何はともあれ、無事に新しい年を迎えられたことに感謝し、今年の干支である「お猿さん」にちなみ、元気で明るく動き回りたく思っておりますので、よろしくお付き合いくださいませ。

末筆ながら、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

今月号もお読みいただき有難うございます。

※「やすらぎ通信」をメールでご覧いただけます。

ご希望の方は、アドレスをお知らせください。

また、ご不要の方もご一報ください。



編集責任者

渡辺 田鶴子